

北薩感染症情報

2026年第10週(3月2日~3月8日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中

○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル 基準値	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始 基準値	終息 基準値	基準値		前週 報告数 (人)	今週 報告数 (人)	定点 報告数	前週 からの 増減	警報 注意報	前週 報告数 (人)	今週 報告数 (人)	定点 報告数	前週 からの 増減	警報 注意報
急性呼吸器感 染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	-	-	-	219	193	64.33	↓	-	72	62	31.00	↓	-	
	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	109	48	16.00	↓	◎	45	12	6.00	↓	-	
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
小児科定点	RS	-	-	-	2	1	0.50	↓	-	1	2	2.00	↗	-	
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-	1	-	-	↓	-	1	1	1.00	→	-	
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-	4	6	3.00	↗	-	5	8	8.00	↗	◎	
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-	15	11	5.50	↓	-	3	8	8.00	↗	-	
	水痘	2.0	1.0	1.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	手足口病	5.0	2.0	-	-	-	-	→	-	-	1	1.00	↗	-	
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-	3	2	1.00	↓	-	-	-	-	→	-	
	突発性発疹	-	-	-	2	-	-	↓	-	-	-	-	→	-	
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-	-	-	-	→	-	/	/	/	/	/	
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-	2	1	1.00	↓	-	/	/	/	/	/	
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
指定医療機関からの インフルエンザ入院報告		-	-	-	-	-	/	→	-	-	/	/	→	-	
指定医療機関からの COVID-19入院報告		-	-	-	-	-	/	→	-	-	/	/	→	-	
報告数合計		-	-	-	357	262	/	↓	/	127	94	/	↓	/	

<注意報・警報レベル>

- ・川薩保健所管内 インフルエンザ(警報レベル)
- ・出水保健所管内 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報レベル)

<全数報告>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 結核1件

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

疾病別各保健所定点当たり報告 直近10w分(男女合計)

警報発令中 注意報発令中

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)										
				1W	2W	3W	4W	5W	6W	7W	8W	9W	10W	
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	29.33	63.00	82.00	98.33	111.00	88.67	88.67	110.00	73.00	64.33	
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	15.33	34.67	25.00	61.33	136.00	174.67	124.67	72.67	36.33	16.00	
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	0.33	—	0.33	0.67	0.67	0.33	—	—	—	—	
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	0.50	1.00	11.00	4.00	2.00	1.00	2.00	2.00	1.00	0.50	
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	—	3.00	1.00	2.50	1.00	1.00	—	1.00	0.50	—	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	—	1.00	3.50	1.50	1.50	2.50	2.50	1.50	2.00	3.00	
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	—	6.50	6.50	7.00	9.50	12.00	9.50	6.00	7.50	5.50	
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	1.50	—	—	—	—	—	—	—	
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	—	—	—	0.50	—	—	—	—	
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	1.00	1.50	1.00	2.00	3.50	1.50	0.50	—	1.50	1.00
	突発性発疹	—	—	—	0.50	0.50	0.50	1.00	—	—	—	—	1.00	—
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	—	3.00	8.00	4.00	7.00	2.00	4.00	3.00	2.00	1.00	
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)										
				1W	2W	3W	4W	5W	6W	7W	8W	9W	10W	
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	33.50	60.50	54.50	88.00	88.00	87.50	61.50	52.00	36.00	31.00	
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	20.00	29.00	17.50	40.50	41.50	60.00	47.50	40.00	22.50	6.00	
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	0.50	0.50	—	—	0.50	—	—	—	—	—	
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	1.00	1.00	—	2.00	2.00	—	2.00	2.00	1.00	2.00	
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	1.00	1.00	1.00	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	1.00	8.00	2.00	4.00	2.00	3.00	—	4.00	5.00	8.00	
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	2.00	7.00	7.00	10.00	8.00	2.00	—	6.00	3.00	8.00	
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	—	1.00	—	—	
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.00	
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	1.00	9.00	3.00	3.00	—	5.00	1.00	3.00	—	—
	突発性発疹	—	—	—	—	—	—	1.00	—	—	—	—	—	—
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

第10週は、川薩保健所管内における、インフルエンザの報告数は減少しましたが、警報レベルは継続中です。出水保健所管内では新たに、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が警報レベルとなっています。

川薩保健所管内で インフルエンザの流行発生警報が継続して 発令されています。



インフルエンザとは

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。併せて風邪と同じように、のどの痛み、鼻水、咳等の症状も見られます。子どもではまれに急性脳症を、高齢者の方や免疫力の低下している方では細菌による肺炎を伴う等、重症になることがあります。

予防について

①流行前のワクチン接種

②外出後の手洗い等

→流水・石鹸による物理的除去
アルコール製剤による手指衛生

③適度な湿度の保持

→空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。適切な湿度(50%~60%)を保つことも効果的です。

④十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

⑤人混みや繁華街への外出を控える

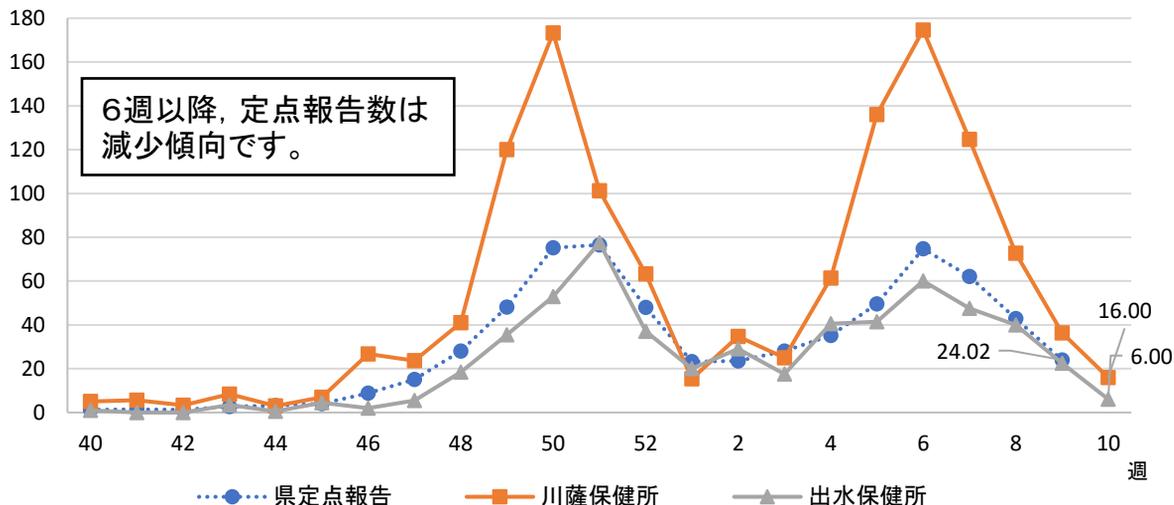
⑥室内ではこまめに換気をする

→対角線上にあるドアや窓を2か所開放すると効果的です。



定点あたり報告数(人/定点)

参考:感染症発生動向調査システム(40週~R8.10週)



鹿児島県内で麻しんの報告がありました！



・空気感染
・飛沫感染
・接触感染

麻しん(はしか)とは...？

麻しんとは、麻しんウイルスによって引き起こされる、急性の全身感染症です。麻しんウイルスの感染経路は空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症し、一度感染して発症すると、一生免疫が持続すると言われています。

症状について

感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。

肺炎、中耳炎を合併しやすく、1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。また、10万人に1人程度に亜急性硬化性全脳炎(SSPE)と呼ばれる中枢神経疾患を発症することもあります。

感染可能期間について

周囲への感染可能期間は、発症日の1日前から解熱後3日間を経過するまでの期間で、発症前から感染力があります。



STOP

麻しんに感染したかも...と思ったら

- ・麻しんの感染力は非常に強いと言われています。
- ・医療機関へ移動される際は、医療機関へ電話で伝え、周囲の方への感染を防ぐためにもマスクを着用し、公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

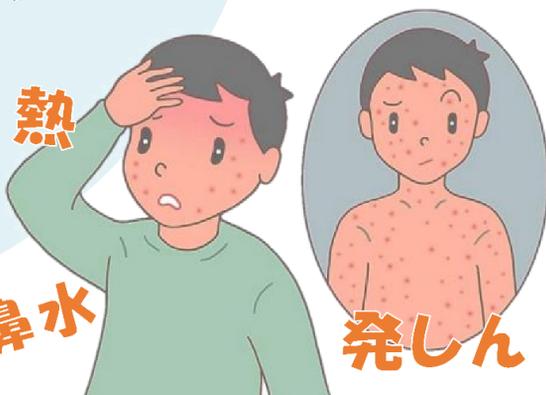
ワクチンについて

麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。予防接種が最も有効な予防法といえます。麻しん含有ワクチンを接種することによって、95%程度の人が麻しんウイルスに対する免疫を獲得することができます。

ま 麻疹 (はしか) に

ちゅうい
ご注意ください

高熱
せき
鼻水



症状

感染すると約10日後に発熱やせき、鼻水といったかぜのような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。

麻疹かな?と思ったら

医療機関に電話等で麻疹の疑いがあることを伝え以降は医療機関の指示に従ってください。医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

感染経路

空気感染等により、簡単に人から人に感染します。麻疹の免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。

予防方法

ワクチン接種が有効です。定期接種対象者（1歳児、小学校入学前1年間の幼児）、医療・教育関係者、海外渡航を計画している方は、予防接種が済んでいるかご確認ください。



海外での感染にもご注意ください

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください

